2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	フィールド・スタディⅡ（Field Study Ⅱ ）		
ナンバリングコード	E21413	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 地域マネジメント
単位数	4	配当学年 / 開講期	2 / 通年
必修・選択区分	選択		
授業コード	E048101	クラス名	こども・福祉マネジメント
担当教員名	鍋田　耕作、高橋　淳一郎、河村　裕次、坂口　昌宏、栗延　孟		
履修上の注意、 履修条件	原則として、フィールドスタディＩA・フィールドスタディＩB、サービスラーニング並との合同演習のため、該当年次のみ受講可能となります。・フィールドワークを行う場合は、特に基本的な社会人としてのマナー・常識・態度などが重要になりますので、この点についても指導します。※こども・福祉マネジメントコースのCOC事業等を活用して実施します。・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席を心がけてください。・グループワーク時は、ディスカッションや作業等に積極的に取り組むことを心がけてください。 ※必要に応じて、正課時間外に地域に出る場合があります		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	授業中に指定します。		
関連科目	家族援助論、フィールドスタディＩA・ＩB		

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確認等）	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	グループ活動に積極的に参加することができる。チームを意識し、メンバー間の連携をうまく取ることができる（協調性）。			20点
【知識・理解】	地域における様々な福祉・保育分野の問題点を知り、その解決に向けての基礎知識を身につけることができる。		30点	
【技能・表現・ コミュニケーション】	活動に積極的に参加することができる（主体性）、企画内容を理解し、それを実行できる（実行力）（事業運営時）。			30点
【思考・判断・創造】	グループ内での意見を聴き（傾聴力）、自分の意見をまとめることができる（主体性）（事業企画時）。		20点	

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

リアクションペーパー等の提出物をもとに総合的に判断します。
［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
講義・グループ活動・COC事業等への参加をもとに総合的に判断します。
［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	こども・福祉マネジメントコースでは、経済や経営の知識をベースに、「子ども」「高齢者」「障がい者」など福祉に関する幅広い視点から専門知識やスキルを習得するためには、地域社会が抱える多種多様な課題を知り、体験交流活動で実感し、その課題解決に向けた必要な知識の修得、そして実際にステークホルダーとの協働による課題解決型学修を実施しています。具体的には、地域課題を抱える当事者・専門職と関わりながら、様々な福祉・保育分野の問題点を理解し、その解決に向けての取組を当事者・専門職とともに行うことで、専門的な見地から思考力・実践力などを身につけてもらいます。この授業は、地域の当事者や専門職との関わりの中で、地域社会における市民的責任や社会的役割を感じてもらうことも目的の1つです。	
授業の概要	こども・福祉マネジメントコースの教育プログラム等を通して、これまで講義等で学ばれた学問的な知識・技能を、地域社会の諸課題（地域の抱えている問題点や対象者の抱えている課題など）を解決するためにチームとして社会的活動を行っていきます。 そのために、本科目は、地域課題の解決方法について学修するため、地域課題の分析、企画、準備、実行、振り返りの実践を行う実行型授業を行います。 ※活動によって、課題分析、企画、準備、実行、振り返りの配当時間数が変わることがあります。 ※第2週～第16週を1サイクルとして、3回以上実施した場合に単位認定を行います。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

多学年協働での実践活動になる。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： フィールド・スタディⅡ（Field Study Ⅱ ）　授業コード：E048101
担当教員： 鍋田　耕作、高橋　淳一郎、河村　裕次、坂口　昌宏、栗延　孟

学修内容

1. オリエンテーション

予習：（約1.0h）
復習： 配布プリントを読み、重要箇所をまとめる。（約1.0h）

2. チーム編成

予習： 配布資料の理解（企画の趣旨を理解するため、活動目的等をまとめる。）（約1.0h）
復習： 配布資料の理解（企画に当たっての注意点等をまとめる。）（約1.0h）

3. 地域課題分析①
活動の目的等を理解し、その目的が達成できるよう、課題の洗い出しを行う。

予習： 説明資料から課題抽出（約1.0h）
復習： 活動の課題整理（約1.0h）

4. 地域課題分析②
分析①で出た課題に対して、今、必要なもの、自分たちが出来ることを検討する。

予習： 解決方法の検討（約1.0h）
復習： 解決方法の整理（約1.0h）

5. 企画立案①
再度、事業目的・対象者・内容等を確認し、企画内容の素案を考える。（地域課題解決に向けた企画目的の設定等）

予習： 事業目的・対象者・内容等の確認（約1.0h）
復習： 企画内容の理解（約1.0h）

6. 企画立案②
チームごとに事業企画の内容を考え、企画の全体的な流れを話し合う。（企画内容の決定）

予習： 企画に合わせたスケジュールなどを検討（約1.0h）
復習： グループでの決定事項の確認（約1.0h）

7. 準備①
企画書の作成、当日までのスケジュール作成（準備等）、役割分担、当日の流れ、チラシ作成等の役割を、チームごとに設定し、準備する。

予習： グループでの決定事項の確認（約1.0h）
復習： 企画実施に向けての準備物等の作成（約1.0h）

8. 準備②
企画書の作成、当日までのスケジュール作成（準備等）、役割分担、当日の流れ、チラシ作成等の役割を、チームごとに設定し、準備する。

予習： 企画実施に向けての準備物等の作成（約1.0h）
復習： 企画実施に向けての準備物等の作成（約1.0h）

○授業計画　科 目 名 ： フィールド・スタディⅡ（Field Study Ⅱ ）　授業コード：E048101
担当教員： 鍋田　耕作、高橋　淳一郎、河村　裕次、坂口　昌宏、栗延　孟

学修内容

9. 事前準備（ロールプレイ等）
当日のスケジュールに合わせて運営側・参加者側に分かれ、内容・流れの確認等を行う。

予習： 企画実施に向けての準備物等の作成（約1.0h）
復習： 企画実施に向けてのスケジュール等の確認（約1.0h）

10. 事前準備（最終打ち合わせ等）
ロールプレイでの変更点等をまとめるとともに、当日のスケジュール・役割等の確認を行う。

予習： 企画実施に向けてのスケジュール等の確認（約1.0h）
復習： 最終打ち合わせでの確認事項の整理（約1.0h）

11. 運営・実行①
チームで考案した企画を運営・実施する。

予習： 運営・実施に当たってのリハーサル等を行う。（約1.0h）
復習：（約.0h）

12. 運営・実行②
チームで考案した企画を運営・実施する。

予習：（約.0h）
復習：（約.0h）

13. 運営・実行③
チームで考案した企画を運営・実施する。

予習：（約.0h）
復習：（約.0h）

14. 運営・実行④
チームで考案した企画を運営・実施する。

予習：（約.0h）
復習： 運営・実施の反省点等をまとめる。（約1.0h）

15. 振り返り①
この企画運営を振り返り、個人としての達成点、改善点をまとめる。

予習： 運営・実施の反省点等をまとめる。（約1.0h）
復習： 運営・実施に関する改善点等を検討する。（約1.0h）

16. 振り返り②
この企画運営を振り返り、チームとしての達成点、改善点をまとめる。

予習： 運営・実施に関する改善点等を検討する。（約1.0h）
復習：